

タイトル

口之津歴史民俗資料館企画展 「長崎古版画展ー港がつなぐ長崎と異国ー」

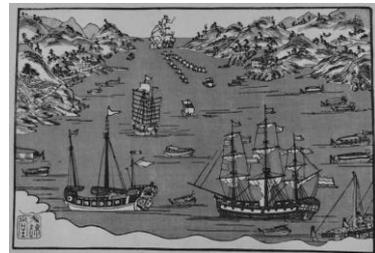
口之津には「南蛮船来航の地」があり、中世以降多くのポルトガル船が来航し、南蛮貿易により、西洋文化が盛んに取り入れられました。口之津以外にも、長崎の港は鎖国時代において外国に向けて開いていた港であり、長崎は西洋や東洋との交流が盛んにおこなわれていた地域でした。今年、長崎港は開港450年を迎えます。

長崎古版画は江戸時代の長崎の風景を描いたものです。元文年間（1736年～1741年）に制作されました。江戸大坂での錦絵では見られない、異国の文明、器機、人物、動物、風俗、建物を対象としています。本展覧会で展示する長崎古版画は、個人が収集したコレクションであり、昭和39年～40年に複製された資料全26点です。

江戸時代、異国人たちが行きかう長崎の風景をぜひご覧ください。

記

- 期 間 11月17日（水）～12月8日（水）
 - ・開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）
 - ・休館日 月曜日
- 会 場 口之津港ターミナルビル2階多目的ホール
- その他
 - ・入場は無料です。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場制限を行う場合があります。



担当部署	教育委員会 世界遺産推進室	担当者	中山 和子
直 通	0957-73-6706	E mail	sekaiisan@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは ☎	https://www.city.minamishimabara.lg.jp/page/594.html	検索ワード	
担当者 連絡先			



長崎古版画展

く港がつなぐ長崎と異国く

2021.11.17(水)-2021.12.8(水)

会場：口之津港ターミナルビル 2階多目的ホール
長崎県南島原市口之津町丙 4358 番地 6

開館時間：9:00~17:00 (最終入館 16:30)

休館日：毎週月曜日

問い合わせ：南島原市教育委員会

Tel:0957-73-6706

入場無料



——江戸時代、異国人たちが行きかう長崎とは

